

郷音

ひびき

東京福祉会だより 第98号

通刊121号
令和5年10月発行

「響」とは「郷」の「音」と書きます。
私ども東京福祉会では、この温かなものを大切に
「心に響く葬儀」を目指しております。

今号のエッセイ

十人十色

【じゅうにんという】

エネルギーを発し続ける

俳優・気象予報士

石原良純さん



東京福祉会の家族葬/会友制度のご案内
外国人技能実習生・特定技能実習生のご紹介
盂蘭盆会のご報告



小石川後楽園 通天橋

おかげさまで創立100周年～さらに前へ



社会福祉法人 東京福祉会

東京福祉会だより(響)は、個人・団体会友や当会をご利用いただいた皆様をはじめ、都内の各福祉事務所・施設などにお届けしております。

東京福祉会 行事報告

盂蘭盆会のご報告

令和5年7月14日・15日の2日間、江古田斎場において主だった宗旨・宗派別にて盂蘭盆会を執り行いました。今回も換気や消毒など万全の感染症対策のもと、皆様と一緒にご供養が出来

たことを大変嬉しく思います。
なお、今回も感染症対策、および、近年の納骨堂利用者の急増のためお塔婆の読み上げはいたしませんでした。

皆様のご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。



ご法要の様子

資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料(料金、式場等)をご用意しています。
下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



- ① 会友制度Bプランお申し込み書一式
- ② 葬祭料金のご案内
- ③ ご火葬のみプランのご案内
- ④ 道灌山会館のご案内
- ⑤ 江古田斎場のご案内
- ⑥ ホール多摩国立のご案内
- ⑦ 聖恩山霊園のご案内
- ⑧ 葬儀のあとの手続き・届け出事典

お問合せ・お申し込み 東京福祉会 渉外部

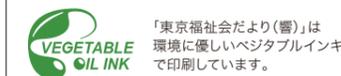
電話 | 0120-00-5677 ※9:00~17:00(土日を除く)
E-mail | info@fukushikai.com
URL | https://www.fukushikai.com

東京福祉会 検索



※お急ぎの方はお手数ですが ☎0120-62-1192まで 響では読者の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

東京福祉会だより「響」
第98号(通刊121号) 令和5年10月発行
発行所 社会福祉法人 東京福祉会
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-52-1
電話 03(3823)8026



「東京福祉会だより(響)」は環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

石原良純

俳優・気象予報士

🌈 最期までスターらしく

「裕次郎のように、俺は達観できないのだ」
「すい臓ガンが再発し、医師から余命を3カ月と宣告されていた親父は、ある時、ふと僕にそんな言葉を漏らした。それは以前、僕が叔父、石原裕次郎のハワイでの最期の闘病生活の様子を親父に報告していたからに違いない。」
もう30余年前にもなるが、叔父は肝臓ガンと闘いながら最愛の地、ハワイに滞在していた。叔父のハワイでの日々は、至って穏やかなものだった。大好きなヨットに乗ってワイキキの夕暮れを楽し

むことも、多勢の仲間を引き連れてゴルフコースへ出かけることもない。ワイアライの砂浜を臨むリビングの椅子に腰かけ、ただじつと一日中、南の島の風景を眺めていた。

窓の外に広がる眩いばかりの南国の景色と、昼でもなお薄暗いリビングルームのコントラスト。その部屋の中で、身動き一つせずじつと外を眺める叔父の土気色の顔。そんな僕の報告を聞いた親父は、その時ただ一言、「裕さんは、強いなあ」と言った。

多くの人の夢を背負って、高度成長期の日本を駆け抜けた昭和のスター。想いを託された人間は、その人々の想いに応えなければな

らない。叔父は人前に弱っている自分の姿を晒すことをよしとしなかった。

大学病院から再三の要請でハワイから帰国することになった叔父は、ワイアライ別荘の前でも Honolulu 空港でも成田空港でも、報道陣や居合わせた多くのファンに笑顔で手を振って応えた。だが、成城の自宅に着くやいなや40度の高熱を発し床に倒れこんだ。そして、その年の夏の太陽を見ることなく大学病院の病室で静かに最期を向かえた。

🌈 叔父の教え、親父の教え

文学界や政界という、一見お堅

い職業の親父に比べ、芸能界に生きた叔父は型破りな人間だったと思われる方が多い。数々の伝説的なエピソードを残した叔父ではあるが、その実像は非常に常識的な人だったと僕は思う。

僕の俳優デビューが決まった時、まだ学生だった僕はスーツを着込んで成城の叔父の家へ報告に出かけた。俳優の大先輩から何か芸能界を生きる奥義のようなものを伝授してもらえるものとはばかり思っていた。

叔父からのアドバイスは、「時間を守れ」「挨拶をしる」のたった二つだけ。中学生や高校生ではあるまいしと僕は拍子抜けしてしまった。しかし、この2つが重要だということが10年の時を経て理解できるようになった。

なるほど、時間を守れてちゃんと挨拶できる人間ならば、社会のどこかでそれなりの居場所を得て生きていくことができる。華やかな芸能界に身を置きながら、叔父は僕が社会に出るにあたって、人が生きていく基本中の基本を諭していたのだ。

親父の教えといえば、何かにつけ「人は感性で生きる」と言っていたのを思い出す。生まれつきの本質に従い、自らの心の動きのまま

エネルギーを発し続ける



まにふるまえということが。良く言えば、放任主義。悪く言えば、勝手にしろということ。アドバイスになっているようで、なっていない。

しかし、昨年2月に親父が亡くなった時、僕は親父から大きな教訓を得た。

🌈 逝き方に学んだ生き方

親父の闘病生活にあたり、足の

骨折で介護施設に入っていた母に代わり、僕が家政婦さんや秘書さん、看護師さん、ケアマネさん、お医者さんなど親父を取り巻くスタッフのまとめ役を引き受けることになった。いわば、事務長。事務長の仕事は、ただひとつ。家のシステムを維持すること。その為には、親父が嫌でも納得してもらわねばならない事もある。実家で暮らすことが親父にとってベストであると確信していた僕は、親父

に直言するたびにひどく怒鳴られた。大晦日の怒声は秀逸だった。その声は病人とは思えぬほど大きく、小気味良い。その言葉は作家ならではの、鋭利でリズムミカルだった。こうなると怒鳴られる方も気持ち良い。この夜のセリフばかりは書き留めておかねばと、僕はメモを取った。

親父が亡くなる前々日、病室を出る時に僕は親父の手を握っていた。



僕は今、ディンギーの練習中。子供の頃、親父に連れられて二人ぼっちで海へ出た。波しぶきを上げて艇は海面を切り裂き、みるみる岩場が近づいて来た。忘れえぬ思い出も、僕も自分の子供に作ってやろう。

石原 良純

(いしはら・よしずみ)

1962年1月15日神奈川県生まれ。1984年慶應義塾大学経済学部卒業。同年、映画「凶弾」でデビュー。以後、舞台、映画、テレビドラマ、バラエティーにと意欲的に活動。2007年度NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」、2008年度NHK木曜時代劇「鞍馬天狗」、2009年度NHK大河ドラマ「天地人」、2015年度NHK大河ドラマ「花燃ゆ」他。

一方、湘南の空と海を見て育ったことから気象に興味を持ち、気象予報士試験へ挑戦する。1997年難関といわれる試験に見事合格。空の楽しさを伝えられれば、と、お天気キャスターとして登場、お茶の間の人気を得る。また、2001年に出版された「石原家の人びと」により作家としても注目を集める。日本の四季、気象だけではなく、地球の自然環境問題にも力を入れている。

エネルギーを出すということはアウトプット。その為にはインプットが不可欠だ。いつも本を読んでいた親父の姿が思い浮かんだ。叔父の死と親父の死。二つの男の死に様を垣間見た僕は、残りの人生をエネルギーを発し続けて生きていくほかあるまい。

敬老の集い

令和5年9月17日に当法人特養3施設にて「敬老の集い」を開催いたしました。今年は新型コロナウイルス感染症も落ち着いていたことから、4年ぶりにご家族にご来園いただき一緒にお祝いをさせていただきますました。

式典では90歳と95歳以上のお祝い年を迎えられた利用者様へ、当法人理事長からお花を贈呈させていただきました。ご家族の皆様に見守られ、少し照れくさそうにお顔をほころばせている利用者様の表情が、とても印象的でした。

感染症対策としてこれまで同様、換気・消毒等はもちろん、ご家族にも来園人数制限やマスク着用などご協力いただき、無事開催することが出来たこと、深く感謝申し上げます。

これからも利用者の皆様「笑顔」で楽しく日々をお過ごしただけよう、スタッフ一同努力してまいります。

敬老の集い

練馬高松園

第2練馬高松園

第3練馬高松園



「よりそう近親葬」

～感謝を伝えたい方はご家族以外にいませんか?～

葬儀は大切な人を送る、一度きりの儀式です。

当会創設当時は、その葬儀を何とか行いたいと望む方々ばかりでしたが、社会の変化と共に、人付き合いの範囲や宗教観も移り変わり、葬儀は必要ない、という意見も聞こえるようになってきました。しかし、東京福祉会は創設当初から、「葬儀は故人様の尊厳を守る、人生最後の大切な礼」と考えています。

また、最近では「家族・親族だけで送りたい(家族葬)」というご希望も増えてきておりますが、ご家族以外の方々の方々の心にも、故人様への感謝の気持ちやお別れを惜しむ気持ちはあるのではないのでしょうか?

当会は、人数や規模ではなく、「故人様がこれまで紡いできた『絆』を大切にすることが葬儀の本質の一つである」と考え、「家族だけ」の家族葬から、親しくお付き合いのあった方々もお呼びし共にお見送りをする葬儀を「近親葬」と名付け、おすすめをしています。ご家族やご自身の葬儀を考えたとき、親しくお付き合いしていた方の中にも、お別れを悲しみ、最後にも感謝と惜別の言葉を伝えたいという願いがあることを、心に留めていただきたいと思います。



近親葬で行った方からいただいた声

5～6名の小さな近親葬でしたが、時間に余裕があったので心行くまでお別れが出来ました事、とてもよかったです。わからないこともたくさんありましたが、アドバイスを頂き無事旅立たせることが出来ました。ありがとうございます。



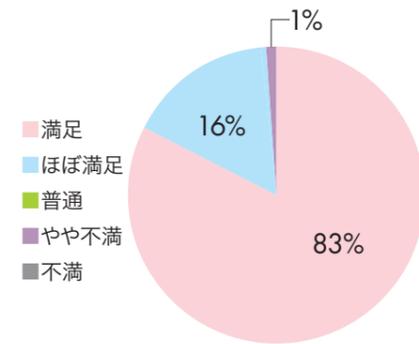
全てこちらの要望を聞いてくださり、大変満足しております。

コロナの中であつたため近親葬にしましたが、これはそれなりに思いを伝えられたよいお式となりました。

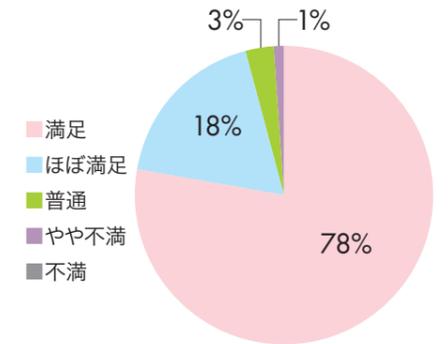
ありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

近親葬を行ったお客様のうち約99%の方にご満足いただいております。

総合満足度



式の内容について



令和4年4月～令和5年3月施行分 集計総数 320件

もし、人数や予算など、不安に思うことがあれば東京福祉会にぜひご相談ください。お一人お一人のご要望に沿った「その人らしい葬儀」をご提案いたします。

第2練馬高松園

私はフォンと申します。



日本に来てもう一年が経ちました。初めての頃は日本の生活に慣れないために困ることがいろいろありました。その中で一番はゴミの分別と種類によって収集する日が違うので、最初は捨て方も慌てて日を間違えたこともありました。私にとってそれは面白い記憶になりました。時間が経って、生活も仕事もだんだん慣れていきます。介護の仕事は素晴らしい仕事だと思います。みんなが通常の日常生活を送るのを手伝ってくれて良かったと思っています。上司と同僚は優しく熱心に教えてくれてありがとうございます。もっと頑張ります。休日を楽しむためにお出かけします。有名な場所に行ったり、おいしい食べ物を食べたり、ゆっくり過ごしています。それに、日本女子バレーにハマっています。たまに観に行った時は楽しかったです。

第2練馬高松園



グエットと申します。



東京福祉会に入社して1年間がたちましたが、まるで昨日のような話です。ベトナムの田舎出身の私にとって、日本の生活は新しいことばかりで、色々体験でき、自分が少しずつ成長していくと思うと嬉しくなります。1年間介護職として働く上で、利用者さんとの散歩や、楽しく体操したことは素敵な思い出になりました。しかしながら、認知症の利用者さんが興奮で怒った時はどうしても対応できないし、親しくなった利用者さんとの別れの瞬間はすごく寂しかった。「介護職はどうですか」と聞かれば、やはり「大変だ」と思い浮かんでしまうかもしれませんが、それより困っている利用者さんの力になれることは、介護の光栄の使命ではないでしょうか。介護は誰でもできる仕事ではない、温かい心が必要だと気づきました。だからこそ、一緒に働いている先輩たちはみんな偉い人です。私もみんなの背中を追って、そのようなカッコいい人になりたいので、これからももっともっと頑張ります。

第3練馬高松園



第3練馬高松園

私はチャウと申します。



ネコと絵を描くことが大好きです。5年前に初めて実家を離れて日本に留学しました。日本に来た時、日本について聞いていた事と違って呆れた事もたくさんありましたが、いつの間にか日本が好きになりました。清潔が好きで日本、公共マナーの良さが凄い日本、社内に泊まれるほど治安がいい日本はやっぱり憧れる国だと思います。高齢者とのコミュニケーションを通じて、信頼関係を築くことができるとても楽しいです。職場で色々な人と接する介護仕事をしてから、落ち着いて対応することができました。まさに仕事の経験が実生活で役に立っているということです。

私はムオイと申します。



ベトナムの北部のパクザンから参りました。趣味は音楽を聴くことです。日本は日本人がやさしい、食べ物も美味しい。高いビルが多くて景色もきれいです。一番好きなのは桜の時期です。ベトナムより冬は日本のほうが寒いですが、日本に来て初めて雪を見ました。周りが真っ白くなって、絵みたいで良かったです。仕事は楽しいこともあるし、大変なこともあります。皆さんが優しく教えてくれて感謝しています。

東京福祉会
特養部門
の
新しい仲間

外国人技能実習生・ 特定技能実習生を ご紹介します！

東京福祉会 練馬高松園・第2練馬高松園・第3練馬高松園では令和4年の7月から外国人技能実習制度を実施しており、令和5年6月現在では7名のベトナム人実習生と共に勤務に励んでおります

練馬高松園

私はイエンと申します。



私は技能実習生として日本にきました。今、練馬高松園で働いています。まったく知らない異国にやってきて、生活を始めました。すべて新しいもので、これまで経験があったことがないので、それが不安でした。でも一番日本のいいところは、やさしさがあふれているところです。高松園からアパートを準備してもらい、手続きは一緒にやってくれました。働くところでは、いろいろなことを職員さんが少しずつ教えてくれました。本当にありがとうを持っています。だんだん不安の思いがなくなります。あと2年間、いくら大変でも最後まで頑張ります。

私はカインヴァンと申します。



今年私は26歳です。日本で私の仕事は介護職員です。私はこの仕事を1年間働いていました。最初、仕事をしてきた時は、経験もないし、言語も話せないし、それが私には大変でした。でも、たくさんのことを教えてくれた熱心でフレンドリーな同僚がいるのは良いことです。私にとって介護の仕事は利用者さんへの心遣いが細やかで丁寧な仕事だと思っています。この仕事をしていて、うれしいのは利用者さんと毎日会話ができることです。私が良いケアができるようにもっと努力してまいります。どうもありがとうございました。

私はミーヴァンと申します。



今デイサービスで働いています。6年の前に留学するため、日本へ来ました。千葉県の日本語学校を卒業してから名古屋の専門学校に進みました。2020年2月末に、コロナウイルスの影響で、私は専門学校を辞めました。その時、両親から家に帰るように言われましたが、入国できませんでした。それで、介護の特定技能試験を受けて、合格しました。それから、岡山県の老人ホームで働きました。そして2023年4月に練馬高松園で入社して、働いています。練馬高松園の職員は熱心で、親切です。たまに、仕事の困る時はみんなに助けってもらって、本当に嬉しかったです。また、日本語の仕事言葉がわからない時はみんなに教えてもらいました。お年寄りの性格は優しく、楽しくて、面白いです。練馬高松園の介護に対する私の感想は、この仕事に本当に好きなので、長くここで働きたいと思っています。



練馬高松園

職員募集

採用職種	●介護職員（常勤・非常勤） ●看護職員（常勤・非常勤）
勤務地	練馬高松園・第2練馬高松園 第3練馬高松園のいずれか（要相談）
福利厚生	社会保険・賞与（年2回） 休暇（育休・産休など）その他 多数あり

お問い合わせ

職員採用相談センター

第3練馬高松園(大木) ☎ 03-5848-8000

<https://www.tfk.or.jp/>

東京福祉会 練馬高松園

私たちと一緒に働きませんか？

